

令和7年度第2回久留米市城島生涯学習センター運営委員会（要旨）

日時	令和8年3月18日（水）14:00～15:10
場所	久留米市城島総合文化センター イベントホール
出席委員	小野里江委員、後藤千秋委員、井手秀則委員、城後昌子委員、池田宏委員、堀田洸太郎委員
欠席委員	千代島賢委員、江口真知子委員、執行洋子委員、坂井保子委員、吉崎隆一委員
事務局	轟田課長、大坪補佐、伴主査、永田主事、古賀社会教育指導員
傍聴者	なし

次第	内容等	
1～3	進行：事務局	<p>1. 開会</p> <p>2. 城島生涯学習センター運営委員長あいさつ</p> <p>3. 文化スポーツ課長あいさつ</p>
4. 議題	<p>進行：委員長</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>(1) 令和7年度久留米市城島生涯学習センター事業報告</p> <p>(2) 令和7年度久留米市城島総合文化センター事業報告 —説明—</p> <p>生涯学習事業でサークル化できそうな事業については、できるだけサークル育成を行ってほしい。</p> <p>講座の講師や受講者と協議のうえ、可能な限り積極的にサークル育成を行う。</p> <p>文化事業において子供たちやアマチュアへの発表の機会の提供も大切であるが、いくつかプロの鑑賞事業を盛り込んでほしい。</p> <p>昨年度までは毎年恒例であった九州交響楽団オーケストラの公演をしていたが、昨今の人件費高騰等もあり、今年度は公演を断念した。予算的に厳しい状況が続いているが、プロアーティストを呼べるように予算部局に要望は出しているため、引き続き協議を行う。</p> <p>城島文化協会はなぜ解散したのか。</p> <p>年々会員数が減少しており、固定メンバーでの活動になっていた。昨年度に前会長が辞されたタイミングで、会員の協議の結果、解散に至った。</p> <p>(3) 令和8年度久留米市城島生涯学習センター事業計画</p> <p>(4) 令和8年度久留米市城島総合文化センター事業計画 —説明—</p>

	委員	生涯学習事業で親子や子供を対象とした講座を増やすことはできないだろうか。また参加人数の制限があるようだが、その人数を増やすことはできるのか。
	事務局	講座は基本的には平日に開催しているため、高齢者向けの講座が多くなっている。今後は夏休み期間以外の土日の開催も含め、親子や子供が参加できる講座について検討を行う。また受講者数については、予算に限りはあるが、講師との打ち合わせを基に増やすことは可能である。
	委員	令和7年度まで実施していた公共ホール音楽活性化事業は、令和8年度は実施しないのか。
	事務局	公共ホール音楽活性化事業は（一財）地域創造からの補助を受けて平成30年度から実施していたが、令和7年度でプログラムが終了となった。
	委員	文化事業は新年度に入って事業が増える可能性はあるのか。
	事務局	予算との兼ね合いになるが、ロビーコンサートを中心に増える可能性はある。
5. その他	事務局	－令和7年度施設利用者数の説明－ －令和7年度維持補修事業執行状況及び令和8年度維持補修事業執行予定の説明－
	委員	前回の委員会でも意見したが、インガットホール施設予約に関して、現在の先着方式ではなく抽選方式の導入を検討してほしい。
	事務局	先着方式の方が良いという意見もあるため、いただいた意見を参考に引き続き、課内で検討を行う。
6. 閉会	委員長	閉会あいさつ